

年月日

10 06 24

ページ

33

NO.

「フィルターなどに使われ、建築や造船をはじめ多岐にわたる分野で高品質を支えるパンチングメタル（打抜金網）。この業界で独自の技術を追求しているのが、1895年の創業から今年で115年を迎えた奥谷金網製作所だ。神戸港開港120周年を記念してメリケンパーク（神戸市中央区）に設置された魚の形のモニュメント「フィッシュダンス」のウロコ部分に金網を提供していることでも知られている。

外注品を販売していた同社が、明石工場（神戸市西区）を開設していく早くプレス機を導入し、自社で製作を始めたのは1967年。現在、売り上げの約半分をパンチング

グメタルが占め、化学・原子力のほか航空・宇宙関係でも注目されている。

目標は「世界一の技術力」。07年に経営統合した同業者ユニパンチ工業の技術を活用し、板厚より小孔径の加工が可能なプレス加工技術「スレーパーパンチング」を開発した。

石工場に、パンチングメタルメーカーでは珍しい輸出も視野に入る。10年4月から海外向けの販売サイトに掲載。海外でもパンチングメーカーは多数あるが、スレーパーパンチングは「世界でも

兵庫発 ▶▶▶ 世界へ

ニッ子 14
トップを目指せ

打抜金網製作所



ショールームには1000点以上の製品を常時展示（同）と意気込む。

08年1月に開設した延べ床面積50平方㍍のショールームには、1000点

以上を展示。探していた当社だけ」（智彦専務）と胸を張る。ドイツの展示会で3社程度に見せたところ、「（自社では）できない」と言われたとデザインは、神戸市が08年実施したショップデザイン賞のネット部門で1位を獲得した。

パンチングの開発に取り組む計画だ。輸出も視野に入る。10年4月から海外向けの販売サイトに掲載。海外でもパンチングメーカーは多数あるが、スレーパーパンチングは「世界でも

△本社：神戸市中央区、078-351-2531 ▽社長：奥谷勝彦氏 ▽売上高：6億5000万円（10年5月期） ▽従業員：42人 ▽主要事業：金網製品製造・販売

（木曜日に掲載）

発した。

板厚より小さい直徑の穴を開けるのは難しいとされていたが、金型などを工夫で強度を維持し、加工サイズを大きくして、加工サインを増加させたが、金型など寿命を実現。板厚に対し穴と穴のすき間（ピッチ）が小さい加工も可能

る。主力は板厚1ミリ～6ミリ。長男の奥谷智彦専務も「もっと板厚を増したい」と研究に余念がない。今年夏に募集がある中小企業向けの販路開拓支援事業を活用し、今後5年間で「超スーパー」が小さい加工も可能

「顧客や社員など皆にかわいがられる会社にしたい」と奥谷社長。智彦専務が中心になり認知度とブランド力の向上に取り組む。オイルショック、阪神・淡路大震災と長い歴史の中で何度も危機を乗り越えてきた。リーマン・ショックを経て売り上げはピーク時の2割減と落ち込んでいるが、景気に対して神経質にならず前向きに事業を広げていく考えだ。